

若葉台地区の小中学校は、平成19年4月に小・中各1校ずつに再編統合されました。その後、学校としての役割を終えた3校の跡地活用を具体的に検討するため、平成20年9月に「若葉台地区小中学校跡地活用検討・調整委員会」が設置され、検討協議を重ねてきました。昨年12月8日（水）、第7回検討・調整委員会が開催されましたので主な内容を報告します。

旧若葉台東小学校に移転する特別支援学校に知的障害高等部が設置されることになりました

教育委員会特別支援教育課から、旧東小に移転整備する特別支援学校に、新たに知的障害高等部を設置することが説明されました。

移転整備が予定されている新治特別支援学校は、肢体不自由児のみを対象としていましたが、中学校個別支援学級卒業生の急増に対応するため、旧東小学校3階教室を活用して、知的障害高等部の設置を行うことになったものです。

新たに整備される知的障害高等部の概要は次のとおりです。

- (1) 受け入れ人数 90人（1学年30人）
(2) 対象者 軽度の知的障害者等
(3) 教育目標 企業就労による自立と社会参加
(4) 教育課程 地域密着型のボランティア活動や就労体験を通じて、企業就労を目指す教育課程を編成（市立高等特別支援学校に準ずる教育）

これにより、新たな特別支援学校の概要は次のとおりとなります。

名称：若葉台特別支援学校（仮称：市会の議決により正式決定となります。）

敷地面積：19,063㎡

延床面積：9,400㎡

教室数：肢体不自由 普通教室12、特別教室4

知的障害 普通教室6、特別教室6

児童生徒数：肢体不自由 80人 知的障害 90人

学部：肢体不自由 小・中・高等部 知的障害 高等部

第7回検討・調整委員会の概要

日時：平成22年12月8日（水）

19:00~20:15

場所：若葉台中学校Eホール

議題：1 委員長あいさつ

2 第6回検討・調整委員会議事内容

3 3校の跡地活用整備状況と今後のスケジュールについて

4 その他



旧若葉台東小学校（同校ホームページから）

今後のスケジュールは、次の予定で進められることになっています。

Timeline table showing the schedule from 22年度 to 25年度 for physical disability and intellectual disability sections, including implementation design, contract procedures, city review, renovation work, and school opening.

教育委員会特別支援教育課からは、この整備に伴い、体育館・校庭を含めた改修が必要になるため、工事期間中はコミュニティハウス・学校開放の利用ができなくなることが説明されました。改修工事の詳細については、決まり次第改めて地元へ周知することになっています。併せてコミュニティハウスと地域交流スペースの整備内容についても説明があり、その中で当初校舎2階に整備する予定だった市民図書室を、使い勝手の点などから1階に変更したことが報告されました。（詳細は次号でお知らせします。）

旧東小学校・旧西小学校の防災備蓄庫について移設の考え方が示されました

旧若葉台東小学校の防災備蓄庫は校舎の2階にあり、物品の搬出入が大変なため、以前から1階部分への移設が要望されていました。今回、特別支援学校を整備するにあたり、移設の考え方が区役所から示されました。

「区役所と消防局、教育委員会で協議して、1階に下ろせるよう調整している。小学校のときに使っていた倉庫を改修して、防災備蓄庫として使えるようにしたいと考えているので、具体的になれば地元と協議したい。」（旭区役所総務課）

これに対して、委員からは「備蓄庫は雨漏りなどがしないようしっかりしたものを作ってほしい。」「場所を決めるにあたっては地元を確認して進めてほしい。」などの意見が出されました。

また、旧若葉台西小学校はこれまで地域防災拠点となっていたことが、学校法人国際学園に売却され、4月から星槎中学高等学校が開

校するため、地域防災拠点を旧西中学校に移すことになっています。これに伴い防災備蓄庫も旧西中に移す必要があり、地域防災拠点運営委員会（松浦一明委員長）では、備蓄庫の備品類を旧西中南棟 1 階の旧保健室に移しました。正式な備蓄庫が決まるまでの間、この場所を備蓄庫として災害に備えることになります。これに関して次のような考え方が区役所から示されました。

「旧西中については、校舎をどのように使うかがまだ決まっていないので、とりあえず暫定で備品類を旧保健室においてある。地元で一番使いやすい形を決めてもらえば、消防局で棚の設置や資機材の移動を行う予定になっている。」（旭区役所総務課）

これに対して、委員からは「備品を整理するためにも棚くらいは設置してほしい。」「地元としては、南棟の一番西側を備蓄庫にしたいと考えている。」などの意見が出されました。

旧若葉台西中学校の整備スケジュールについて 旭区役所から説明がありました

旭区役所区政推進課から、旧西中学校の整備スケジュールについて次のような説明がありました。

「旧西中学校については、教育文化施設として整備するため、今年度実施設計をおこなう予定になっていましたが、実施設計業務を担当する建築局と検討を行ったところ、給水設備の改修や、学校時代にはなかった空調設備や車椅子対応のトイレ、エレベーターなど、施設の目的に沿った新たな整備が必要になることから、改修工事費が当初想定していた整備費を大幅に上回ることが明らかになりました。

また、施設開所後の運営経費についても、旧西小学校の土地賃貸料の 2 分の 1 を充てることが決まっていますが、施設規模からみても明らかに不足することが見込まれ、何らかの対応が必要ということになりました。

このため、工事内容の精査や整備に必要な経費の確保、運営経費の確保などについて、十分時間をかけて検討する必要があり、実施設計を 1 年間繰り延べすることになりました。整備が遅れ地域の皆さんには大変申し訳なく思いますが、ご理解いただくようお願いいたします。なお、現状の暫定利用（校庭・体育館の開放等）に変更はなく、来年度も地域の皆さんにはこれまでどおりご利用いただけます。」

これに対して、委員から次のような質問、意見が出されました。（カッコ内は行政側の回答）

- ・旧西小学校の売却益をもう少し充当するようなことは出来ないのか。（学校を売却した利益をどう運用するかはルールが決まっていて、2 分の 1 以上に金額が増えるということはない。）
- ・財源は旧西小の分だけで、ほかから回ってくることはないということか。（そういうことになる。お金が必要ということであれば、民間の力も活用するような、知恵と工夫が必要になってくると思う。）
- ・暫定利用が延びることになるが、暫定期間中の修繕費だとか必要な経費は市で見てもらえるのか。（これまでどおり、区が窓口となり教育委員会に依頼していきたい。）
- ・今の状況では、若葉台スポーツ文化クラブも管理運営団体として手を挙げるかどうか決められないし、手を挙げて受けられなかったら意味がない。地元としても 100%力を注げない。（管理運営団体については原則公募で決めたいと思っているが、それ以外の何らかの手法があるかどうか考えていきたい。）
- ・われわれも工事費が本当に足りるのかということでは心配していた。郊外部における市民の文化・スポーツ活動の拠点というのは、横浜市でも初めてのことなので、どう運営していくか専門家も含めいろいろな人を交えて検討していく必要があると思う。



平成22年度若葉台地区小中学校跡地活用検討・調整委員会 委員

（敬称略）

委員長	山岸 弘樹（連合自治会会長）	
副委員長	南 宏市朗（体育指導委員協議会会長）	
副委員長	白岩 正明（地区社会福祉協議会会長）	
委員	服部 光雄（連合自治会事務局長）	小原 淳治（連合自治会広報理事）
	皆川 猛文（第一自治会会長）	岩城 徹夫（東自治会会長）
	泉妻 輝夫（二丁目南自治会会長）	武笠 信義（北自治会会長）
	田村 八郎（中央自治会会長）	太田 正廣（とちのき自治会会長）
	大野 清志（ゆりのき自治会会長）	松浦 一明（西自治会会長）
	佐々木恵介（あかね自治会会長）	伊藤 徹（もみじ自治会会長）
	内山 善彦（青少年指導員協議会会長）	峰松 雅子（民生委員・児童委員協議会会長）
	神尊 克己（スポーツ・文化クラブクラブマネージャー）	長沼 伸行（スポーツ・文化クラブ事務局長）
	堀 進（若葉台まつりの会会長）	堀部 裕（旭区老人会連合会若葉台第一支部支部長）
	高岡 穎郎（旭区老人会連合会若葉台第二支部支部長）	高島 裕子（若葉台小学校PTA会長）
	祖父江祐子（若葉台中学校PTA会長）	井上 政夫（オブザーバー、若葉台小学校長）
	齋藤 悦子（オブザーバー、若葉台中学校長）	石川 敏夫（オブザーバー、東小コミュニティハウス館長）
	小倉 剛（オブザーバー、若葉台管理センター事務局長）	仲戸川正仁（オブザーバー、神奈川県住宅供給公社技術管理課長代理）
	栗山 裕章（オブザーバー、星槎高等学校教頭）	

* 行政関係委員は除く。

■本委員会へのご意見は、ファクスまたはEメールで、下記事務局までお寄せください。

【若葉台地区小中学校跡地活用検討・調整委員会事務局】 旭区役所 区政推進課 地域力推進担当

ファクス：951-3401

Eメール：as-kikaku@city.yokohama.jp

電話：954-6028